
青空はマイハート

夢二つ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

青空はマイハート

【Nコード】

N7326U

【作者名】

夢二つ

【あらすじ】

雲の形はおもしろいです。様々な世界を広げてるように思えます。なんかこれって小説にitiesいませんか？

屋根の上で仰向けにゴロン。

俺は雲を眺める。ゆっくりと時間を気にすることなく青を漂う。

俺の感情は雲に出る。

今の気持ちが雲の表情であらわされるのだ。

例えば、こうだ。

朝もはよから、屋根の上で寛ぐ変人。朝ごはんも食べていないので、お腹がなる。

「はらへった〜」

この感情が雲の形として表されてしまう。

自由な雲がくっついたり離れたり、変化する。

「タコ焼きかな」

雲の造形がタコの絵と火の文字を表す。

こんな感じに、ちょっと遠回しな僕の心。それを表現する。

母親が庭に降り立ち、僕には声をかける。

「早く降りなさい。時間にルーズなんだからうるせ。」

また僕の感情を反映して、雲がうるうるとする。

ヘッドフォンの形を象っている。

うん。確かにヘッドフォンだな、リアルタイムな僕の気持ちは。

ノラネコがたまに屋根の上にたむろしていることがある。今朝も

先客が来ており、ごろごろとひなぼっこを楽しんでいた。

しかし、自由気ままなノラネコは僕に擦り寄ってくる。

「なんだお前」

喉をこしょこしょしてやる。

雲がまた変化しはじめる。

カタカナでツンデレと書かれる。ものすごくばかにされたようだ。なんだよ。ノラネコから顔を背け、横向きの体制に変える。

ノラネコは寂しそうな一声。

これじゃ、本当にツンデレだ。男のツンデレなんて気持ち悪いだけ。

おじいちゃんが朝の散歩を始めるのか、玄関からこちらを見上げ、手を振っている。

麦藁帽子がかっこいいぜ、ジーちゃん。

手を振りかえす。

雲が姿を変える。

100と読むことができる。

もうすぐで、おじいちゃんは一世期も人生を経験してきたことになる。尊敬します。

曲がり角から顔をだすは、俺の幼なじみだ。

俺の家に向かってくる。そして呼び鈴をその手が鳴らす。

急いで俺は制服を身につけ、ズボンを穿き、学生かばんを引っ張って玄関に出る。

彼女は玄関前までできていた。

「おはよう。学校にいこう」

「おう」

慌ててスニーカーを突っかけ、外に出る。

「あの雲の形面白いよね」

彼女が広い空の雲を指さす。

その雲はハートマークをしている。

「いいから。いくぞ」

「なに、そんなに慌ててるの」

彼女がおかしそうに笑う。

落ち着け俺。落ち着け。

また、彼女が声を上げる。

「見て、あの雲私に似てる」

指さす雲は、確かに彼女に似ていた。

結局、心を落ち着かせるには彼女と普通の毎日を過ごすことなん

だ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7326u/>

青空はマイハート

2011年10月9日10時38分発行